

【NEWS RELEASE】

2023年7月10日

各位

 株式会社三井住友フィナンシャルグループ
 株式会社三井住友銀行

森林ファンド Eastwood Climate Smart Forestry Fund への出資及び
サステナビリティ分野における住友林業との協業について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：太田 純、以下、当社グループを総称して「SMBCグループ」）傘下の株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕、以下「三井住友銀行」）は、住友林業グループが米国にて組成・運営する森林ファンド Eastwood Climate Smart Forestry Fund I（以下「本ファンド」）への出資契約を締結いたしました。

本ファンドは、住友林業株式会社（以下、「住友林業」）の傘下である米国の森林アセットマネジメント会社 Eastwood Forests, LLC が管理・運営し、北米を中心に既存の天然林を購入し適切な森林管理を行うことで、木材の販売だけでなく、CO2 吸収・炭素固定機能を高めカーボンクレジットの創出を目指す森林ファンドです。また、森林の植生回復を促し、様々な樹種や樹齢の木々で構成する階層構造を持った森林の形成を目指すことで、生物多様性や水資源の保全等の公益的機能も発揮し、持続可能な森林経営を実践する計画です。

また、三井住友銀行は住友林業とサステナビリティ分野におけるビジネス化を目的とした覚書を締結いたしました。今後、住友林業と共に、森林、カーボンクレジット、自然資本、インパクト評価等において、知見の共有や政策提言、ソリューションの共同開発等を行ってまいります。

SMBCグループは、今年度より、「幸せな成長」の実現のため、幾多の社会課題の中で、特に解決を目指すべき喫緊の課題として、DE&I・人権、貧困・格差、少子高齢化、日本の再成長と並び、「環境」を重点課題と定めています。SMBCグループは、本ファンドへの出資を通じ、カーボンクレジットの市場拡大に寄与すると共に自然資本の保全・回復に貢献してまいります。

【ご参考】三井住友銀行が出資する森林ファンドの概要

名称	Eastwood Climate Smart Forestry Fund I
組成時期	2023年6月
地域	北米
事業内容	既存天然林に対し適切な森林管理を行うことで森林の植生回復を促し、木材の販売及びカーボンクレジットの創出を行う
運営者	Eastwood Forests, LLC

以上